様式第２号の１－①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第２号の１－②を用いること。

学校名	中国短期大学
設置者名	学校法人　中国学園

１．「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学科名	夜間･通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
		全学共通科目	学科等共通科目	専門科目	合計		
総合生活学科	夜・通信	44		109	153	7	
保育学科	夜・通信	10		83	93	7	
情報ビジネス学科	夜・通信	21		77	98	7	
（備考）							

２．「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

本学ホームページにおいて公表
http://syllabus-cjc.jp/koukai/にて、入学年次を選択し、次ページの担当教員の実務経験の「有無欄」で「有」を選択して検索する。（単位数付一覧は、同ページバナーで popup されるページ内で「実務経験のある教員等による授業科目一覧表」を選択。

３．要件を満たすことが困難である学部等

学科等名
（困難である理由）

様式第２号の２－①【⑵-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第２号の２－②を用いること。

学校名	中国短期大学
設置者名	学校法人中国学園

１．理事（役員）名簿の公表方法

https://www.cjc.ac.jp/about/info_disclosure.html 大学要覧（大学事務局に配置）

２．学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	元県副知事	R2.10.1～ R5.9.30	組織運営体制へのチェック機能
非常勤	元公立高校校長	R2.4.28～ R5.4.27	組織運営体制へのチェック機能
（備考）			

様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	中国短期大学
設置者名	学校法人 中国学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

１．授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。

（授業計画書の作成・公表に係る取組の概要）

本学では全ての授業科目についてシラバスを作成し、学生への利便性を考慮し、シラバスのＷｅｂ化を実施している。

シラバスの内容は、「授業の概要」「到達目標」「年間授業計画」「評価の方法」「受講の心得」「授業外学修」「使用テキスト」「参考書」から構成される。

シラバスの作成にあたっては、「シラバス作成の手引き」を全教員へ配付し、記載内容・記載方法を詳細に示している。各教員より提出されたシラバス原稿は、シラバス整備のガイドラインに基づき、各科からなる教育課程委員会及び教務課において点検を行い、記載上の留意事項に照らして不備や欠陥が認められる場合は、修正を依頼する。

また、学期中途で修正事項があった場合は、教員からの連絡に基づき教務課で修正すると共に学生へ周知する。

シラバスの作成・公表時期については、例年下記の日程で実施している。

１． シラバス入稿期間：１２月初旬～２月末
２． シラバス点検期間：３月初旬～３月中旬
３． シラバス修正期間：３月中旬～３月下旬
４． シラバス公開：４月１日

授業計画書の公表方法	本学ホームページにおいて公表 http://syllabus-cjc.jp/koukai/

２．学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

（授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要）

授業科目の学修成果の評価方法については、授業担当教員が科目（教養、専門、資格関連）の特性と、授業形態（講義、演習、実験、実習、実技）に応じ、適切な評価方法（筆記試験、レポート、実技試験、小テスト、授業参加度等）を組み合わせ、総合的に判断している。この成績評価の方法・基準は、シラバスに具体的に明記し、各授業科目の学修成果の評価を行い、これに基づき、単位認定又は履修の認定を行っている。

また、各教員がそれぞれに実施している指導と評価等については、常に学科内会議等で相互に意見交換をし、きめ細かく効果的な指導と適切な評価について検討することで、学修成果が達成可能、かつ一定期間内で獲得可能なものになっている。

３．成績評価において、ＧＰＡ等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

（客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要）

成績評価は、A～D 及びＦの５段階とし、D 以上を認定としている。成績と評価基準は下表のとおりである。また、教育の質を保証するために、GPA（Grade Point Average）制度を導入している。この制度の導入で、学生は自分の成績を数値で客観的に把握し、次の学期の履修計画に役立てるなどの活用が可能である。

成績と評価基準

成　　績	評　　価
100－90 点	A
89－80 点	B
79－70 点	C
69－60 点	D
59－ 0 点	F（不合格）

K：欠席　N：受験資格なし

GPA の数値の算出方法については、下記の方法により算出しており、この算出方法は学生便覧に記載し学生に周知している。

＜GPA 算出方法＞

$$GPA = \frac{4.0\times A評価の単位数 + 3.0\times B評価の単位数 + 2.0\times C評価の単位数 + 1.0\times D評価の単位数}{総履修登録単位数（F評価、K評価、N評価の単位数を含む）}$$

客観的な指標の算出方法の公表方法	本学ホームページにおいて公表 https://www.cjc.ac.jp/about/info_disclosure.html

４．卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要）

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）を定め、各学科で点検し、変更する場合は教育課程委員会及び教授会で審議・決定することとしている。

学内においては、入学式直後に各学科で実施する新入生オリエンテーションで、保護者同席のもとでディプロマポリシーを示して、その内容を説明している。

さらに、学生にはその後のオリエンテーション期間中に十分な説明を行っている。

卒業認定は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）及び修得単位数を踏まえて行っている。

各学科の卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）は、下記のとおりである。

【総合生活学科】

現代を心豊かにたくましく生きる力を身につけ、所定の単位を修得した学生に短期大学士（生活学）を授与します。学士力とは、「知識・理解」「思考・問題解決能力」「技能」「態度」からなります。

＜知識・理解＞
　生活学を中心とした幅広い教養を有するとともに、衣食住、環境、情報に関する基本的知識を身につけている。また、衣生活、食生活、福祉・介護、医療事務のいずれかの分野または複数の分野における専門的な知識を修得している。
＜思考・問題解決能力＞
　他者を思いやる心、他者に対する礼儀の精神を有するとともに、他者と協力し問題を解決しようと試みることができる。
＜技能＞
　衣生活、食生活、福祉・介護、医療事務のいずれかの分野又は複数の分野における技能を身につけ、生活の中で活かすことができる。
＜態度＞
　他者との関係が良好であるように努めるとともに、おもてなしの心を有する。また、継続的活動を通して目標を達成した経験を有し、変化し続ける現代社会に対応すべく生涯にわたって学習意欲を持ち続けることができる。

【保育学科】
　保育者として必要な幅広い知識と技術を身につけ、豊かな人間性を備えた人材を養成します。所定の単位を修得した学生に短期大学士（保育学）を授与します。
＜知識・理解＞
　保育者に求められる専門的な知識を有し、それらを向上心を持って保育実践に活かすことができる。
＜思考・問題解決能力＞
　保育を取り巻く環境の変化やよりよい保育活動をしていくうえでの課題について、適切に思考・判断し主体的に解決できる。
＜技能＞
　他者を理解し応答的対応をすることで、他者に共感することができる。
＜態度＞
　信頼される保育者に必要な優しさや思いやりなど、豊かな人間性をもつことができ、自他を尊重し、仲間との協調や家庭・地域と連携する態度を身につけている。

【情報ビジネス学科】
　職業人に必要とされる幅広く専門的な知識とスキルを身につけるとともに、知・情・意のバランスのとれた人格の形成を目指します。所定の単位を修得した学生に短期大学士（経営情報学）を授与します。
＜知識・理解＞
　情報とビジネスの領域に関する専門的な知識を修得し、実践する力を有している。
＜思考・問題解決能力＞
　自らのセンスや感性を大切にしながらも論理的で客観的な思考ができる。また、他者の立場に立って、他者を思いやる心を有している。
＜技能＞
　パソコンの利用技術、ビジネス実務のスキルを有して、得たスキルを実践する能力を有している。
＜態度＞
　職業人としての常識・マナー・倫理観を身につけている。また、向上心を持ち、高い目標に向かって、自主的に学ぶことができる。

卒業の認定に関する方針の公表方法	本学ホームページにおいて公表 https://www.cjc.ac.jp/about/policy.html#tab1

様式第２号の４－①【⑷財務・経営情報の公表（大学・短期大学・高等専門学校）】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第２号の４－②を用いること。

学校名	中国短期大学
設置者名	学校法人中国学園

１．財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.cjc.ac.jp/about/info_disclosure.html ＊5．財務の状況に掲載
収支計算書又は損益計算書	https://www.cjc.ac.jp/about/info_disclosure.html ＊5．財務の状況に掲載
財産目録	https://www.cjc.ac.jp/about/info_disclosure.html ＊5．財務の状況に掲載
事業報告書	https://www.cjc.ac.jp/about/info_disclosure.html ＊4．事業の状況に掲載
監事による監査報告（書）	https://www.cjc.ac.jp/about/info_disclosure.html ＊5．財務の状況に掲載

２．事業計画（任意記載事項）

単年度計画（名称：　　対象年度：　　）	
公表方法：	
中長期計画（名称：　　対象年度：　　）	
公表方法：	

３．教育活動に係る情報

（１）自己点検・評価の結果

公表方法：https://www.cjc.ac.jp/about/info_disclosure.html

（２）認証評価の結果（任意記載事項）

公表方法：https://www.cjc.ac.jp/about/info_disclosure.html

（３）学校教育法施行規則第 172 条の２第１項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学科等名　　総合生活学科
教育研究上の目的（公表方法：本学ホームページにおいて公表 https://www.cjc.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2022/04/gakusoku_01_2022.pdf）
（概要） 現代生活に関わる分野の専門的・実践的な教育研究を通じ、各人の志向する職業または実際生活に必要とする能力の習得を図り、社会に寄与できる人材の育成を目的とする。
卒業の認定に関する方針（公表方法：本学ホームページにおいて公表 https://www.cjc.ac.jp/about/policy.html#tab3）
（概要） 現代を心豊かにたくましく生きる力を身につけ、所定の単位を修得した学生に短期大学士（生活学）を授与します。学士力とは、「知識・理解」「思考・問題解決能力」「技能」「態度」から成ります。 ＜知識・理解＞ 生活学を中心とした幅広い教養を有するとともに、衣食住、環境、情報に関する基本的知識を身につけている。また、衣生活、食生活、福祉・介護、医療事務のいずれかの分野または複数の分野における専門的な知識を修得している。 ＜思考・問題解決能力＞ 他者を思いやる心、他者に対する礼儀の精神を有するとともに、他者と協力し問題を解決しようと試みることができる。 ＜技能＞ 衣生活、食生活、福祉・介護、医療事務のいずれかの分野又は複数の分野における技能を身につけ、生活の中で活かすことができる。 ＜態度＞ 他者との関係が良好であるように努めるとともに、おもてなしの心を有する。また、継続的活動を通して目標を達成した経験を有し、変化し続ける現代社会に対応すべく生涯にわたって学習意欲を持ち続けることができる。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：本学ホームページにおいて公表 https://www.cjc.ac.jp/about/policy.html#tab1）
（概要） ○変化の激しい現代生活に対応できる知識を修得するために、幅広い教養科目を設置しています。 ○衣食住をはじめ健康、福祉、環境、デザイン、情報、コミュニケーションなどの現代生活に重要な分野について、基本的な知識や技術を幅広く修得するための専門科目を設置しています。 ○衣生活、食生活、福祉・介護、医療事務の各分野については、専門性を深めるための専門科目を設置しています。 ○上記分野における資格等の取得に関係する科目を設置しています。 ○他者及び自身の心を考える科目を設置しています。

入学者の受入れに関する方針（本学ホームページにおいて公表 https://www.cjc.ac.jp/about/policy.html#tab1）
（概要） ○「生活」に興味や好奇心を持つ人 ○他者と協力し、目標を達成しようとする心を持つ人 ○継続的に努力すれば、多くの知識・技術が身につくとの信念を持つ人

学科等名　　保育学科
教育研究上の目的（公表方法：本学ホームページにおいて公表 https://www.cjc.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2022/06/gakusoku_jun_2022.pdf）
（概要） 乳幼児の保育・教育の教育研究を通じ、専門知識ならびに技能の習得を図り、保育・教育現場において、一人ひとりの乳幼児にあわせた指導のできる保育者として寄与できる人材の育成を目的とする。
卒業の認定に関する方針（公表方法：本学ホームページにおいて公表 https://www.cjc.ac.jp/about/policy.html#tab3）
（概要） 保育者として必要な幅広い知識と技術を身につけ、豊かな人間性を備えた人材を養成します。所定の単位を修得した学生に短期大学士（保育学）を授与します。 ＜知識・理解＞ 保育者に求められる専門的な知識を有し、それらを向上心を持って保育実践に活かすことができる。 ＜思考・問題解決能力＞ 保育を取り巻く環境の変化やよりよい保育活動をしていくうえでの課題について、適切に思考・判断し主体的に解決できる。 ＜技能＞ 他者を理解し応答的対応をすることで、他者に共感することができる。 ＜態度＞ 信頼される保育者に必要な優しさや思いやりなど、豊かな人間性をもつことができ、自他を尊重し、仲間との協調や家庭・地域と連携する態度を身につけている。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：本学ホームページにおいて公表 https://www.cjc.ac.jp/about/policy.html#tab3）
（概要） 乳幼児一人ひとりの発達に即した保育ができる実践力を有し、保護者に対する支援ができる保育者、自らも保育者にふさわしい心豊かな人間性を育もうと成長し続ける保育者の養成に努め、保育士、幼稚園教諭二種の免許状等を 2 年間で取得することができる教育課程を編成しています。 ○保育者としての実践力をつけるための基礎技能に関する科目を設置しています。 ○保育者としての専門性を高めるための保育に関する専門的知識・技術に関する科目を設置しています。 ○子どもの世界や保護者の気持ちに深くアプローチすることができる演習科目を設置しています。 ○親子ふれあい演習、キッズイングリッシュなど時代のニーズを反映した特色ある科目を設置しています。 ○施設、保育所、幼稚園を順番に経験する、積み上げ式実習による保育体験ができる科目を設置しています。

入学者の受入れに関する方針（本学ホームページにおいて公表 https://www.cjc.ac.jp/about/policy.html#tab3）
（概要） ○保育者を目指す意志が明確である人 ○目的達成のために積極的に取り組むことができる人 ○子どもが好きで、明るく、人とかかわることが好きな人

学科等名　　情報ビジネス学科
教育研究上の目的（公表方法：本学ホームページにおいて公表 https://www.cjc.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2022/06/gakusoku_jun_2022.pdf）
（概要） 情報処理やビジネスに関する専門的・実践的な教育研究を通じ、職業人としての能力の習得を図るとともに体験学習などを通して総合的な人間力を養い、地域および広く社会の発展に寄与する人材の育成を目的とする。
卒業の認定に関する方針（公表方法：本学ホームページにおいて公表 https://www.cjc.ac.jp/about/policy.html#tab3）
（概要） 職業人に必要とされる幅広く専門的な知識とスキルを身につけるとともに、知・情・意のバランスのとれた人格の形成を目指します。所定の単位を修得した学生に短期大学士（経営情報学）を授与します。 ＜知識・理解＞ 情報とビジネスの領域に関する専門的な知識を修得し、実践する力を有している。 ＜思考・問題解決能力＞ 自らのセンスや感性を大切にしながらも論理的で客観的な思考ができる。また、他者の立場に立って、他者を思いやる心を有している。 ＜技能＞ パソコンの利用技術、ビジネス実務のスキルを有して、得たスキルを実践する能力を有している。 ＜態度＞ 職業人としての常識・マナー・倫理観を身につけている。また、向上心を持ち、高い目標に向かって、自主的に学ぶことができる。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：本学ホームページにおいて公表 https://www.cjc.ac.jp/about/policy.html#tab3）
（概要） ○幅広い知識と教養を養うための教養科目を設置しています。 ○専門科目では、情報とビジネスに関する幅広い分野をフィールドに分類し、２年間の教育を通して効率的に専門的かつ幅広い学修を行います。 ○専門科目とは別に、医療管理秘書士を取得する為の科目群を設置しています。 ○２年間の専門的学修の総まとめとして、ゼミナールを設置しています。
入学者の受入れに関する方針（本学ホームページにおいて公表 https://www.cjc.ac.jp/about/policy.html#tab3）
（概要） ○情報とビジネスに関する専門的かつ実践的な知識や技能を身につけたい人 ○コミュニケーション能力やビジネスマナーを備えた職業人になりたい人 ○社会に貢献したいという意欲を持っている人

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：本学ホームページにおいて公表 https://www.cjc.ac.jp/about/info_disclosure.html)

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a.教員数（本務者）

学科等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手その他	計
－		－					人
総合生活学科	－	３人	５人	１人	０人	０人	９人
保育学科	－	５人	３人	２人	０人	０人	１０人
情報ビジネス学科	－	４人	２人	１人	１人	０人	８人

b.教員数（兼務者）

学長・副学長	学長・副学長以外の教員	計
３人	２６人	２９人

各教員の有する学位及び業績（教員データベース等）	公表方法：https://www.cjc.ac.jp/about/info_disclosure.html

c.ＦＤ（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）

「中国短期大学ファカルティ・ディベロップメント委員会」を中心として、ファカルティ・ディベロップメント（FD）を組織的に推進する体制を整えてある。

＜実施内容＞

・教員相互の授業参観：年に２回(前・後期各１回)、それぞれ２週間の授業公開期間を設けている。この期間、原則として本学全教員の授業が公開される。教員は空いている時間に自由に他の教員の授業を見学できる。互いに授業を参観し、感想や問題点についてレポートする。

・授業方法の改善等についてのＦＤ研修会：学内教員または外部講師により、授業改善・カリキュラム改善等の研修会を年2～3回実施する。

・授業評価アンケート：学生は科目ごとに提示されたQRコードを携帯電話等を使い、読み取ることでアンケートページにアクセスすることができ、回答するアンケート情報が表示された画面に沿って入力する。その後回答データを処理する。自由記述欄も設け、学生の意見を聴取する。

・卒業生アンケート：前年度に卒業した学生に対し、8月末頃オンライン回答方式で授業、資格等についてのアンケートを実施する。

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等

学科等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学定員	編入学者数
総合生活学科	85 人	57 人	67.1%	170 人	110 人	64.7%	－人	－人
保育学科	120 人	88 人	73.3%	240 人	166 人	69.2%	－人	－人
情報ビジネス学科	80 人	45 人	56.3%	160 人	94 人	58.8%	－人	－人
合計	285 人	190 人	66.7%	570 人	370 人	64.9%	－人	－人

（備考）

b. 卒業者数、進学者数、就職者数

学科等名	卒業者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
総合生活学科	55 人 (100%)	1 人 (1.82%)	45 人 (81.8%)	9 人 (16.4%)
保育学科	104 人 (100%)	3 人 (2.88%)	94 人 (90.4%)	7 人 (6.73%)
情報ビジネス学科	60 人 (100%)	4 人 (6.67%)	42 人 (70.0%)	14 人 (23.3%)
合計	219 人 (100%)	8 人 (3.65%)	181 人 (82.6%)	30 人 (13.7%)

（主な進学先・就職先）（任意記載事項）
進学先：中国学園大学、私立大学３年次編入
就職先：地方公共団体、公私立保育所・幼稚園・こども園、医療法人、社会福祉法人、建設、小売、情報処理・通信、サービス、運輸

（備考）

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）

学科等名	入学者数	修業年限期間内卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
総合生活学科	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
保育学科	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
情報ビジネス学科	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)

（備考）

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

（概要）
本学では全ての授業科目についてシラバスを作成し、学生への利便性を考慮し、シラバスのＷｅｂ化を実施している。
シラバスの内容は、「授業の概要」「到達目標」「年間授業計画」「評価の方法」「受講の心得」「授業外学修」「使用テキスト」「参考書」から構成される。
シラバスの作成にあたっては、「シラバス作成の手引き」を全教員へ配付し、記載内容・記載方法を詳細に示している。各教員より提出されたシラバス原稿は、シラバス整備のガイドラインに基づき、各学部・研究科からなる教育課程委員会及び教務課において点検を行い、記載上の留意事項に照らして不備や欠陥が認められる場合は、修正を依頼する。
また、学期中途で修正事項があった場合は、教員からの連絡に基づき教務課で修正すると共に学生へ周知する。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

（概要）
授業科目の学修成果の評価方法については、授業担当教員が科目（教養、専門、資格関連）の特性と、授業形態（講義、演習、実験、実習、実技）に応じ、適切な評価方法（筆記試験、レポート、実技試験、小テスト、授業参加度等）を組み合わせ、総合的に判断している。この成績評価の方法・基準は、シラバスに具体的に明記し、各授業科目の学修成果の評価を行い、これに基づき、単位認定又は履修の認定を行っている。
卒業認定は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）及び修得単位数を踏まえて行っている。

学科名	卒業に必要となる単位数	ＧＰＡ制度の採用（任意記載事項）	履修単位の登録上限（任意記載事項）
総合生活学科	66 単位	(有)・無	単位
保育学科	62 単位	(有)・無	単位
情報ビジネス学科	68 単位	(有)・無	単位

ＧＰＡの活用状況（任意記載事項）	公表方法：
学生の学修状況に係る参考情報（任意記載事項）	公表方法：

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：https://www.cjc.ac.jp/campuslife/campusmap.html

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること
（中国短期大学）

学科名	授業料（年間）	入学金	その他	備考（任意記載事項）
総合生活	410,000 円	250,000 円	380,000 円	施設設備費(160,000 円) 教育充実費(220,000 円)
保育	410,000 円	250,000 円	380,000 円	施設設備費(160,000 円) 教育充実費(220,000 円)
情報ビジネス	410,000 円	250,000 円	380,000 円	施設設備費(160,000 円) 教育充実費(220,000 円)

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a.学生の修学に係る支援に関する取組

（概要）
本学では、従前から、経済的に困窮している学生を含め、学業成績が優秀な学生に対して授業料相当額又は、授業料相当額の半額を支給する奨学金制度を実施している。
入学生では、成績優秀者に加え、地方からの進学（沖縄県等の遠隔地）、卒業生の子、兄弟姉妹が本学に在籍している学生を対象としたもの、高等学校においてスポーツで優秀な成績を収めた学生を対象としたもの等、奨学制度を導入して手厚い支援を実施している。
障がいのある学生への支援については、学生本人の意志決定を重視し、障がい学生修学支援委員会で支援内容を決定して実施している。

b.進路選択に係る支援に関する取組

（概要）
本学では、一人ひとりの学生と向き合い、それぞれの学生が希望する進路につけるよう、各学部・学科及び就職支援センターが連携して、きめ細かいバックアップ体制で支援を行っている。
就職支援センターでは、進路選択に関する面談、求人情報の提供、インターンシップ参加への助言や就職ガイダンス、オンラインプチセミナーの開催などを実施している。

c.学生の心身の健康等に係る支援に関する取組

（概要）
保健室では、学生が心身ともに健康な学生生活が送れるように健康診断の実施及び事後措置、健康相談と応急処置、感染症の予防等を実施している。
学生相談室では、専門カウンセラーが学生生活の中で起こる問題について面談に応じている。
また、学生が健康的で豊かな学生生活を送れるように、健康に関する内容等の講演会を支援セミナーとして実施している。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：https://www.cjc.ac.jp/about/info_disclosure.html